



整形外科のはなし

整形外科
館浦 慎



整形外科とは人体の運動器官の病気や外傷(ケガ)を取り扱う医学の一部門です。整形外科での治療は単に病気やケガを治すだけではなく、運動機能を以前のように回復させる事を目的としています。治療にて運動機能の回復が十分に得られなかったとしても残存する機能を最大限に活用し元の状態にできるだけ近く機能を回復させることも大きな役割です。

ところで、1次ベビーブームのいわゆる団塊の世代が65歳以上となり全人口の25%を占める事になり高齢社会から超高齢社会へと突入してきました。2035年には35%に達するものと推測されています。このような超高齢社会における整形外科の役割として、今後骨折などにより運動器機能が低下し寝たきりとなる人が増加してくると思われます。この運動機能の低下、疾患も含めロコモティブシンドロームと呼びますが、できるだけ寝たきりの方を増やさないようにする為に健康寿命を延ばし、ロコモの診断、予防から治療までを考え、人生の質を高める医療サポートをしていく事が整形外科医の役割と考えています。当院でも、手術などの治療の他にリハビリ、訪問リハビリや通所介護など運動機能の維持、向上に積極的に関わっております。今後、更に充実していきたいと考えております。

運動器の専門科である整形外科を中心に細かな診療を心がけています。痛み、しびれの他、運動機能の低下に気づかれた方は早めに受診し、正確な診断と治療を受けられる事をお勧めします。

また手術を行う原因として1番多いのは外傷、骨折、次に加齢などによる変性疾患です。高齢者では骨折により寝たきりになると筋力低下、肺炎などの合併症にてADLの低下のリスクが高まります。高齢者の骨折に対しては早期に手術などの治療を行い、離床させ、できるだけ元の生活に近づける事が大切です。

何かございましたら、是非当科にご相談ください。

病院のホームページがリニューアルされました！！>>>

2/1より新しくなりました。
病院の情報など更新していきますので、是非ご覧ください。



病院理念

地域の中核病院として、安全で質の良い医療を提供します。

基本方針

1. 私たちは、患者様の人権を尊重し、理解と同意のもと満足いただける医療を提供します。
2. 私たちは、他の医療福祉施設と連携を図り、地域住民の健康を確保するための医療を提供します。
3. 私たちは、医療の質を向上するために自己研鑽します。



当院は、敷地内(駐車場含む)禁煙です。ご理解、ご協力の程お願い致します。

「病院機能評価」受審します！！



この度、越谷誠和病院が平成29年2月に機能評価更新受審することが決まりました。

当院は平成18年に初めて日本医療機能評価機構より認定を受けました。認定の有効期間は5年間となる為、平成24年に日本医療機能評価更新受審を行い、今回で2度目の更新となります。

病院機能評価とは、病院を対象に、組織全体の運営管理および提供される医療について、日本医療機能評価機構が中立的、科学的・専門的な見地から評価を行うツールです。それでは、何を評価するのかと言うと、国民が安全で安心な医療が受けられるように「患者中心の医療の推進」「良質な医療の実践1」「良質な医療の実践2」「理念達成に向けた組織運営」から構成される4つの評価項目を用いて評価します。

病院機能評価の全体の流れは、受審申込から書面審査、訪問審査を踏まえて認定となります。今回受審する病院機能評価は第3世代と呼ばれ、大きな特徴として・病院の特性に応じた機能種別の選択・評価内容の重点化・プロセス重視の審査・継続的な質改善活動の支援が挙げられます。

では、当院はなぜ病院機能評価を受審するのでしょうか。それは、当院の理念でもある「地域の中核病院として、安全で質の良い医療を提供します。」を患者様へ実践する為に、病院全体として取り組んでいるかを定期的に見直す為にも必要なツールと考えているからです。

機能評価と聞くと、つい身構えてしまう職員もいるかもしれませんが、決して病院監査と言うわけではなく、職員全員で病院をより良いものにしようという事が目的です。

病院職員全員が力を発揮し、ひとり一人が主役だという思いで、病院機能評価更新をおこなっていきます！！

医事課 十日市謙司

ワークアウト大会総括

昨年12月19日土曜日、上尾文化センターで上尾中央医科グループ埼玉東部・茨城のワークアウト予選会がおこなわれました。各施設のエントリーされたプロジェクトは“結末”をテーマに業務改善・節約・意識改革・その他も含め、今大会が16回を迎えるだけあって、研ぎ澄まされた素晴らしい内容で、どの施設が入選してもおかしくない印象でした。

当院からは、『大規模災害想定訓練～外来の役割を考えて～』と『駐車場渋滞緩和にむけて』の2題を発表しましたが惜しくも予選突破とはなりませんでしたが、しかし予選会とはいえ、参加できたことがとても貴重で、有意義な時間でした。今後、業務に反映できればと考えます。

プレゼンテーションの前には平成28年度のグループ方針として、「来年度の診療報酬改定に万全な体勢作りをしましょう。」と人材開発部の渡邊部長からの提言がありました。

ワークアウトのような各職員の経営参加意識が高まる絶好の場で、来年度グループ方針提言は、気が引き締まり、モチベーションも上がりました。



放射線科 稲見昌明

訪問看護同行研修

「訪問看護」をご存知でしょうか？地域には、病院ではなく、在宅で医療を受けながら生活をしている方がたくさんいます。そんな方々を支える重要な役割を担っているのが、訪問看護ステーションの看護師さんです。今回は、そんな訪問看護師さんに同行させていただきました！



お宅へ訪問することで、実際の生活背景を知ることが出来ます。そして、病院内ではなかなか言ってもらえない患者さんや家族の本音を聞くことが出来ます。だからこそ、本当に必要な看護や支援は何かを明確にすることが出来るのではないかと思います。

住み慣れた自宅でも、医療や看護を受けることは出来るのです。その人らしく、より良く生活を送るお手伝いができる訪問看護って…素敵！！と思いました。



外来 日暮園子

診療統計 平成27年10月～12月(月平均)

- 外来延べ患者数 17,906名(5,969)名
- 入院延べ患者数 15,701名(5,234)名
- 一日平均外来患者数 239名

- 救急搬入数 550名(184)名
- 紹介患者数 542名(181)名
- 手術件数 405件(135)件
- 内視鏡件数 414件(138)件



